

食品安全委員会第 355 回会合議事録

1. 日時 平成 22 年 11 月 11 日（木） 13:59 ～14:06

2. 場所 大会議室

3. 議事

(1) 遺伝子組換え食品等専門調査会における審議結果について

- ・「GLU-No.3 株を利用して生産された L-グルタミン酸ナトリウム」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

(2) その他

4. 出席者

(委員)

小泉委員長、見上委員、長尾委員、野村委員、畑江委員、廣瀬委員、村田委員

(事務局)

栗本事務局長、大谷事務局次長、西村総務課長、坂本評価課長、原嶋勸告広報課長、本郷情報・緊急時対応課長、新本リスクコミュニケーション官、前田評価調整官

5. 配布資料

資料 1 遺伝子組換え食品等専門調査会における審議結果について〈GLU-No.3 株を利用して生産された L-グルタミン酸ナトリウム〉

6. 議事内容

○小泉委員長 ただ今から「食品安全委員会（第 355 回会合）」を開催いたします。

それでは、お手元にございます「食品安全委員会（第 355 回会合）議事次第」に従いまして、本日の議事を進めたいと思います。

まず資料の確認を事務局からお願いいたします。

○西村総務課長 本日の資料は議事次第の紙のほかに、「遺伝子組換え食品等専門調査会

における審議結果について」という1点でございます。

(1) 遺伝子組換え食品等専門調査会における審議結果について

○小泉委員長 よろしいですか。それでは、議事に入ります。

「(1) 遺伝子組換え食品等専門調査会における審議結果について」です。本件につきましては、専門調査会から意見・情報の募集のための評価書(案)が提出されております。まず担当委員の長尾さんから説明をお願いいたします。

○長尾委員 それでは、資料1の2ページの要約に沿って、概要について御説明します。

GLU-No.3株を利用して生産された、食品添加物であるL-グルタミン酸ナトリウムについて、申請者提出の資料を用いて食品健康影響評価を行いました。

本食品添加物は、L-グルタミン酸の生産性を高めるために、*Pantoea ananatis* No.359株由来の突然変異株を宿主として、L-グルタミン酸の生合成に関与する遺伝子及びプロモーター配列を導入したGLU-No.3株を利用して生産されたL-グルタミン酸ナトリウムです。

提出された資料により、本添加物は食品添加物公定書の規格を満たしていること、従来のL-グルタミン酸ナトリウムと比較して、既存の非有効性成分の含有量が安全上問題になる程度にまで増加しておらず、かつ有害性が示唆される新たな非有効成分を含有していないと考えられました。

したがって、専門調査会において遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性評価の考え方にに基づき、安全性が確認されたと判断しました。

追加等につきましては、事務局からお願いします。

○坂本評価課長 それでは、お手元の資料1に基づきまして、補足の御説明をいたします。

1ページに審議の経緯がございます。このものにつきましては、本年6月に厚生労働大臣より食品健康影響評価について要請があり、遺伝子組換え食品等専門調査会におきまして、本年6月と10月に御審議いただいたものでございます。

今、長尾先生から御説明いただきましたように、このものは遺伝子組換え技術を利用して生産されます食品添加物でございます。アミノ酸等のいわゆる高度精製品に該当いたします。

評価の内容に関しましては、特に事務局から追加で御説明すべきところはございません。

この遺伝子組換え食品等評価書（案）につきましては、本日の委員会終了後、12月10日までの30日間、国民からの御意見・情報の募集を行いたいと考えております。

以上でございます。

○小泉委員長 ありがとうございます。ただ今の説明の内容あるいは記載事項につきまして、御意見・御質問がございましたらお願いします。どうぞ。

○村田委員 高度精製品で生産菌も病原性がないということで、全く問題ないと思いますけれども、この生産菌は余り聞いたことがないので、この生産菌について簡単に説明していただけますでしょうか。

○坂本評価課長 この菌は植物の常在菌ということでございまして、*Escherichia coli*、大腸菌の近縁種ということでございます。ヒトあるいは動物に疾病を起こす見込みがないものという分類になっております。病原性に関しましては文献調査等が行われておりまして、病人から分離されたという報告が1報ございましたが、いわゆる日和見感染と思われるものでありまして、症状の原因という記載もない文献ということでございます。そういうところを専門調査会の方で議論していただいております。

○村田委員 ありがとうございます。

○小泉委員長 ほかにございませんか。よろしいですか。どうぞ。

○見上委員 土壌菌なのですか。植物または土壌からと今おっしゃいましたね。

○坂本評価課長 植物の常在菌ということになっております。

○小泉委員長 ほかにございませんか。よろしいでしょうか。

それでは、本件につきましては、意見・情報の募集手続に入ることといたします。

ほかに議事はございますか。

○西村総務課長 ほかにございません。

○小泉委員長 今日はとても早いのですが、本日の委員会の議事はすべて終了いたしました。次回の委員会会合は、11月18日木曜日14時から開催を予定しております。

明日12日金曜日14時から、添加物専門調査会が公開、来週16日火曜日14時から、遺伝子組換え食品等専門調査会が非公開、17日水曜日14時から、農薬専門調査会評価第三部会が非公開で、それぞれ開催される予定となっております。

食品安全委員会では、「食品のリスク分析手法」や「食品添加物」「農薬」といったテーマを取り上げたDVDを10本作成いたしました。これは無料で貸出しを行っております。貸出しのお申し込み用紙は委員会のホームページに掲載しているほか、本会場の隣の展示コーナーにも御用意しております。また、この10本のうち、「気になる農薬」「遺伝子組換え食品って何だろう？」など7本のDVDにつきましては、委員会のホームページの「動画配信」からも御覧いただけますので、是非御利用いただければと思います。

それでは、以上をもちまして、第355回食品安全委員会会合を閉会といたします。どうもありがとうございました。